

食の安全・安心に係る県民アンケート調査結果について

和歌山県 食の安全局 食品安全企画課

結果の概要

1 調査の目的

近年、「食」に関する事件が相次ぎ、食品に対する消費者の不信感が高まっています。食の安全局では、今後総合的に食の安全行政を展開するにあたって、県民の皆さんの「食」に対する意識を調査し、それを反映させていくことを目的としてアンケート調査を実施しました。

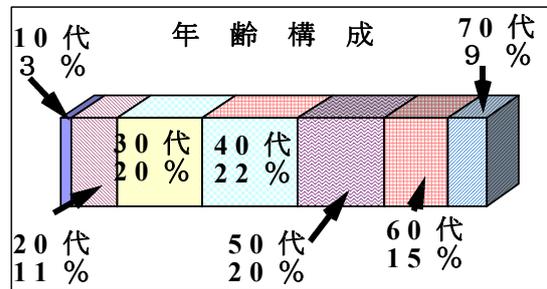
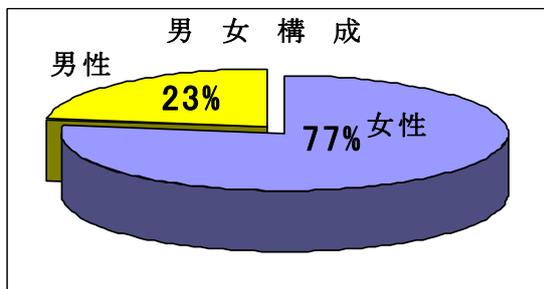
2 調査時期 平成15年10月2日～11月4日

3 調査対象 日常的に食品を購入されている県内の消費者

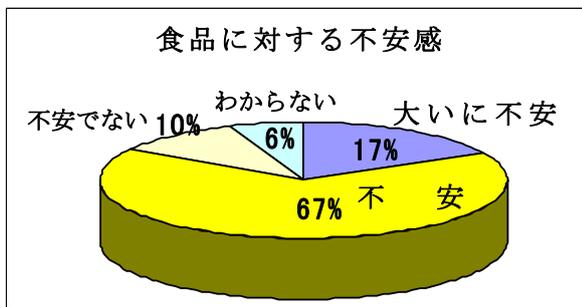
4 回答者数 861名

5 調査結果

1) 対象者の概要

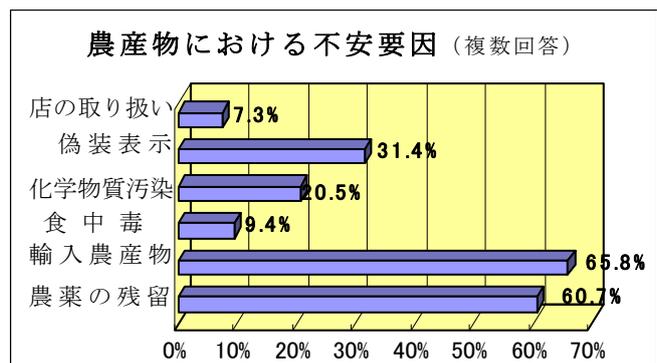


2) 食品に対する不安とその要因

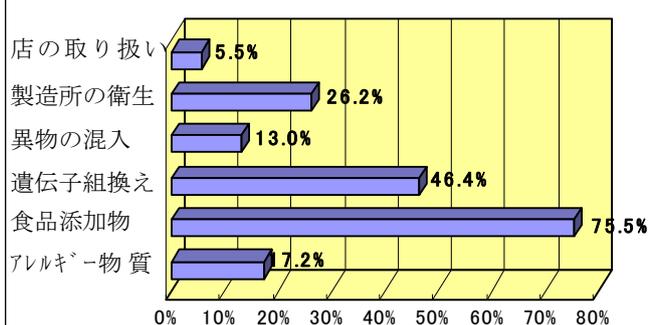


日常の食生活の中で、食品に対して不安を感じている方が全体の8.4%で、その中でも17%の方が「大いに不安を感じている」と回答しています。

農産物における不安の要因として一番目に65.8%で「輸入農産物の安全性」をあげ、また2番目に60.7%で「農薬の残留」をあげています。



加工食品における不安要因（複数回答）



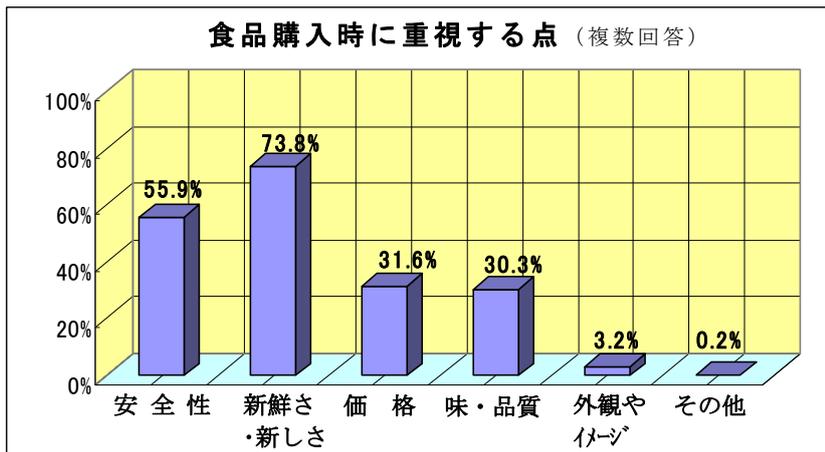
加工食品においては、「食品添加物」が75.5%と他の項目に比べ飛び抜けており、最大の不安要因となっています。

次に46.4%で「遺伝子組換え食品」があげられており、未知の技術に対する不安の大きさがうかがえます。

詳細については「食の安全・安心わかやま」ホームページに掲載していますのでご覧ください。

URL : <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031600/>

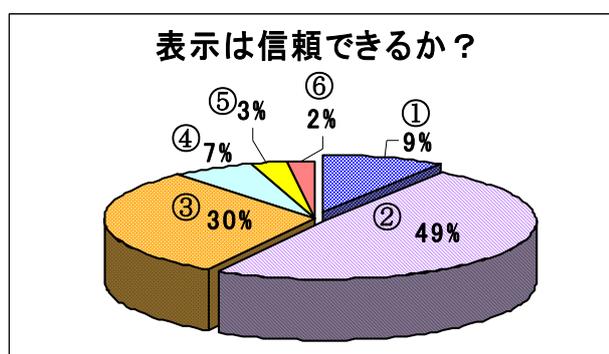
3) 食品購入時に重視する点



食品を購入する際に、重視する点として「新鮮さ・新しさ」が73.8%と一番にあげられ、二番目に「安全性」が55.9%で重視しているとの回答でした。

「安全性」が価格や味・品質などを大きく引き離して購入時の選択肢として回答されており、安全性への意識の高さがうかがわれます。

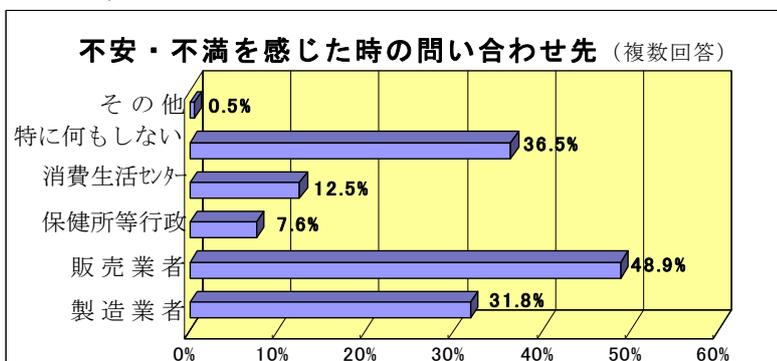
4) 食品表示について



- ①信頼している 9%
- ②どちらかと言うと信頼できる 49%
- ③どちらかと言うと信頼できない 30%
- ④信頼できない 7%
- ⑤関心がない(ほとんど見ない) 3%
- ⑥無回答 2%

食品表示については、58%が信頼できる、37%が信頼できないとの回答でした。

5) 食品に不安や不満を感じたときの行動について

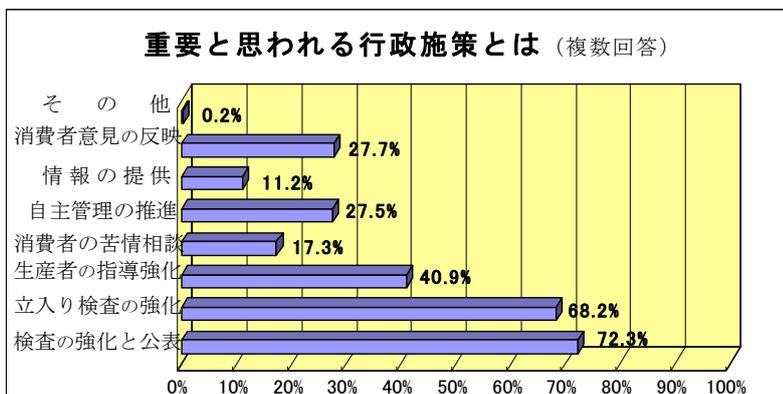


食品について不安や不満を感じたとき、48.9%が「販売業者に問い合わせる」、31.8%が「製造業者に問い合わせる」との積極的な回答でした。

また、「特に何もしない」との回答が36.5%でありましたが、この中には「品物を捨てる。」あるいは「その品物は今後購入しない。」などと記述

された方もあり、無言の抗議的なものも含まれているようです。

6) 重要と思われる行政施策について



行政施策として何が重要であるかとの問に対し、「食品の分析による検査の強化と公表」72.3%及び「製造所・販売所への立ち入り検査の強化」68.2%を両方もしくはどちらか一方でもあげている方が88.3%で、多くの方がこの二つの項目を重要だと考えています。

詳細については「食の安全・安心わかやま」ホームページに掲載していますのでご覧ください。

URL : <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031600/>